

平成30年度 防災シンポジウム in 日田
－九州北部豪雨災害からの教訓－
実施概要

【開催日時】 平成30年8月17日（金）終日 フィールドツアー（学生対象）
8月18日（土）午後 防災シンポジウム

【開催場所】 8月17日（金）フィールドツアー
8月18日（土）マリエールオークパイン日田

【主催】 国立大学法人 大分大学

【共催】 日田市，大分高等教育協議会地域連携研究コンソーシアム

【後援】 大分県，九州大学大学院工学研究院附属アジア防災研究センター
大分合同新聞社

【企画】 大分大学減災・復興デザイン教育研究センター，一般社団 NINAU
地理空間情報活用に関する大分地区産学官連携検討会

【定員】 300名

【プログラム】

○8月17日（金）10:00-17:00

被災地を訪問するフィールドツアー（小野地区，大鶴地区，豆田地区）

学生定員20名＋地元高校生20名

※大分大学大型バス，小型バス

フィールドツアーでは，大分県内に在住の大学・短期・高専学生が被災した地域を回り，災害の被害や復興状況そして地域課題等を学び，学生目線から水害の事実と教訓より減災社会に向けた地域づくりを提案する。フィールドツアー終了後は，調査結果をワークショップでまとめ，その成果は「ストーリーマップ」によりHPで公開すると同時に，これらの成果は翌日の「学生提案」として防災シンポジウムで発表する。

○8月18日（土）13:30-17:00

防災シンポジウム in 日田-九州北部豪雨災害からの教訓-

司会：岡野 涼子

(1) 特別講演（九州大学工学研究院附属アジア防災研究センター長 教授 三谷泰浩
「行政・住民・学の協働による災害からの復旧・復興」
～朝倉市・東峰村の取り組み～

(2) 学生提案

(3) パネルディスカッション「九州北部豪雨災害からの教訓」

<パネリスト>

- ・日田市長 原田 啓介
- ・日田市小野地区振興協議会会長 藤井 維清
- ・日田市大鶴振興協議会会長 石井勝誠
- ・大分工業高等専門学校都市・環境工学科 准教授 工藤 宗治

<コメンテーター>

九州大学工学研究院附属アジア防災研究センター長 教授 三谷泰浩

<コーディネーター>

大分大学減災・復興デザイン教育研究センター 次長 小林 祐司